

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【長野県】

学校名【長野県屋代高等学校附属中学校】

1 実践テーマ	I・II III IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	2学年・A,B組 80名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (道徳・総合的な学習・学活)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	パラリンピックについて学習することを通して誰もが暮らしやすい社会をつくるために必要なことを考え、地域の活性化を考える
5 取組内容	<p>① 「パラリンピックスポーツについて学ぼう！」（総合：6月：1時間）</p> <p>ねらい：パラリンピックスポーツを身近に感じさせ、さまざまなパラリンピックスポーツを知ること、他者の理解や共生社会などについて考える視点を培う</p> <p>内容：「I'm POSSIBLE」を使用して、写真や映像を見ることで、パラリンピックの歴史や様々な競技に興味を持つことができた。</p> <p>② 「国枝慎吾さんから学ぶ」（道徳8月：1時間）</p> <p>ねらい：より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる心を培う</p> <p>内容：資料「夢の実現のために」（国枝慎吾：ニューモラルより）を提示し、国枝慎吾さんの姿から参考にしたいことを話し合わせた。</p>

③「パラリンピック選手を迎えての福祉学習」(総合9月:1時間)
ねらい:パラリンピックのスキー競技選手を迎え、パラスキーについて興味・関心を高めると共に、障がいについて理解し、障がいがある方と共につくる共生社会について考えた。

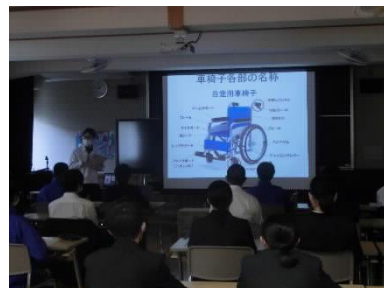
内容:パラスキー選手:信州大学教育学部附属特別支援学校 山崎福太郎先生を迎えての講演会を行った。



④「福祉学習 車いす体験」(総合11月:2時間)

ねらい:車いす体験を通して、障がいのある人や介助する人の置かれている状況についての理解と、共生社会の実現について一人ひとりができることについて考えを深めていく。

内容:千曲市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターの方に指導をしてもらい、講義形式で、車いすの正しい使い方を知り、実際に生徒が車いすを校舎内で体験し、体験を通して、学んだことを発表した。



⑤「ボッチャ体験」(学活1月:1時間)

ねらい:パラスポーツであるボッチャを実際に体験することを通して、パラスポーツの理解を深め、共生社会の実現について考えを深める。

内容:千曲市スポーツ振興課の方を講師として、ボッチャを実際に体験し、学んだことを発表した。



6 主な成果

○パラスキー選手の選手から、障がいがある人を特別視するのではなく、同じ社会の中で生活している一人であることを知り、強制していくことについて視点を広げることができた。
○車いす体験をすることで、車いすに乗る人と車いすを押す人の信頼関係が大切なこと気づいた。また学校の中で車いすの体験をすることで、学校の中が障がいがある人にとって、移動しにくい

	<p>など場所があることが分かり、学校だけでなく地域のバリアフリー化について考えることができた。</p> <p>○ボッチャ体験を通して、パラスポーツとして、特別なスポーツと考えるのではなく、誰でもできる一般的なスポーツであることを学び、もっと競技に関わっていきたいと考えるようになった。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○パラリンピック競技の選手は長野県であるので、地元の冬季パラリンピックの選手からお話ししてもらった。</p> <p>○ボッチャは、2027年の国体のときに、地元でボッチャがおこなわれるので、これから地域の素材としても扱った。</p> <p>○車いすは車いすバスケットもしたかったが、社会福祉協議会の方にご協力をいただいて、実際に車いすに乗ることで理解を深めた。</p>
8 主な課題等	<p>○地元の社会福祉協議会や市のスポーツ振興課と事前に協議をしていくと地域と連動してより、理解を深め、地域に根ざした学習となる。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>今年度は、新型コロナウイルスなどの影響を受け、実施できていないことも多かった。ボッチャについては3年次も継続して活動に取り組みたい。</p> <p>来年度の2学年も福祉教育を進めていくので、パラリンピックについて学ぶことから、福祉施設での職業体験へとつなげていきたい。</p>